

IM-Workflow
Ver.7.2

英語コンテンツ セットアップガイド

2012/10/31 第2版

<< 変更履歴 >>

変更年月日	変更内容
2010/10/29	初版
2012/10/31	第 2 版 「4.2 「IM-Workflow」の初期データインポートを行った後に、「IM-Workflow 英語コンテンツ」をインストールした場合」に追記しました。

<< 目次 >>

1	はじめに.....	1
1.1	用語解説.....	1
1.2	前提条件.....	1
1.3	インストール対象モジュール.....	2
1.3.1	intra-mart WebPlatformの場合.....	2
1.3.2	intra-mart AppFrameworkの場合.....	2
2	インストールの流れ.....	3
2.1	IWP/AFW(IM-共通マスタ含む)のインストール.....	3
2.2	IM-Workflowのインストール.....	3
2.3	IWP/AFW 英語コンテンツ(IM-共通マスタを含む)のインストール.....	3
2.4	IM-Workflow英語コンテンツのインストール.....	3
3	インストール.....	4
3.1	IWP/AFW(IM-共通マスタ含む)のインストール.....	4
3.2	IM-Workflowのインストール.....	4
3.3	IWP/AFW 英語コンテンツ(IM-共通マスタを含む)のインストール.....	4
3.4	IM-Workflow英語コンテンツのインストール.....	5
3.4.1	インストーラの起動と操作.....	5
3.4.2	インストールの注意点.....	5
3.4.3	インストールの方法.....	6
3.4.4	WebApplication Serverへの登録.....	10
4	初期データインポート.....	11
4.1	「IM-Workflow」と「IM-Workflow 英語コンテンツ」を同時にインストールした場合.....	11
4.2	「IM-Workflow」の初期データインポートを行った後に、「IM-Workflow 英語コンテンツ」をインストールした場合.....	11
4.2.1	英語コンテンツの初期データインポート.....	11
4.2.2	マスタ情報の補完.....	12
5	サンプルデータインポート.....	16
5.1	「IM-Workflow」と「IM-Workflow 英語コンテンツ」を同時にインストールした場合.....	16
5.2	「IM-Workflow」の初期データインポートを行った後に、「IM-Workflow 英語コンテンツ」をインストールした場合.....	16

1 はじめに

本ドキュメントは、「IM-Workflow 英語コンテンツ」のインストール手順について記述しています。

1.1 用語解説

intra-mart WebPlatform／AppFramework	以下、IWP／AFW と略します。
intra-mart WebPlatform／AppFramework 英語コンテンツ	以下、IWP／AFW 英語コンテンツ と略します。
intra-mart Server Manager	システム全体を管理するサーバです。 以下、imSM と略します。
intra-mart Service Platform	サービスを起動するためのサーバ本体です。 以下、imSP と略します。
Storage Service	ファイルを管理するサービスです。 以下、StorageSrv と略します。

1.2 前提条件

「IM-Workflow 英語コンテンツ」をインストールするには以下の前提条件があります。

- 「IWP／AFW (IM-共通マスタを含む)」のインストールが完了していること。
- 「IWP／AFW パッチ 2」以降が適応されていること。
- 「IM-Workflow」のインストールが完了していること。
- 「IM-Workflow パッチ 2」が適応されていること。
- IWP／AFW および IM-Workflow のサーバモジュールの文字コードが「UTF-8」でインストールされていること。
- IWP／AFW および IM-Workflow のウェブブラウザへ送信する文字コードが「UTF-8」でインストールされていること。
- 「IWP／AFW 英語コンテンツ (IM-共通マスタを含む)」のインストールが完了していること。

IWP／AFW は、「アドバンスド」または、「エンタープライズ for BPM」が必要です。

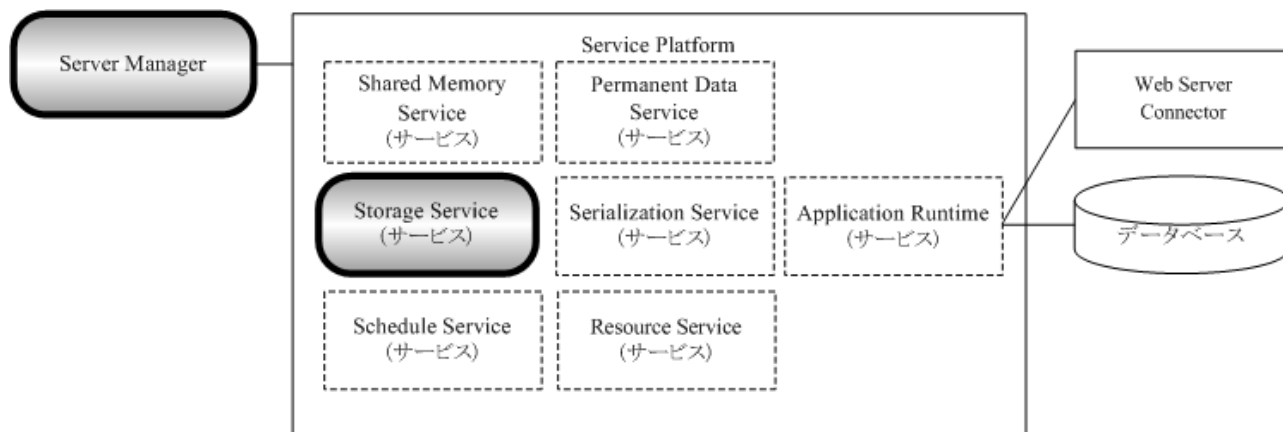
「スタンダード」では動作しません。

また、本製品をご利用になられる環境についても、事前に把握した上でインストールを開始してください。インストールに際しては、下記の事項に関して事前にチェックすることを推奨します。

- intra-mart サーバの構成
- IWP/AFW をインストールしたディレクトリ
- Storage Service のコンテンツディレクトリ(標準は storage)
- ディスクの空き容量

1.3 インストール対象モジュール

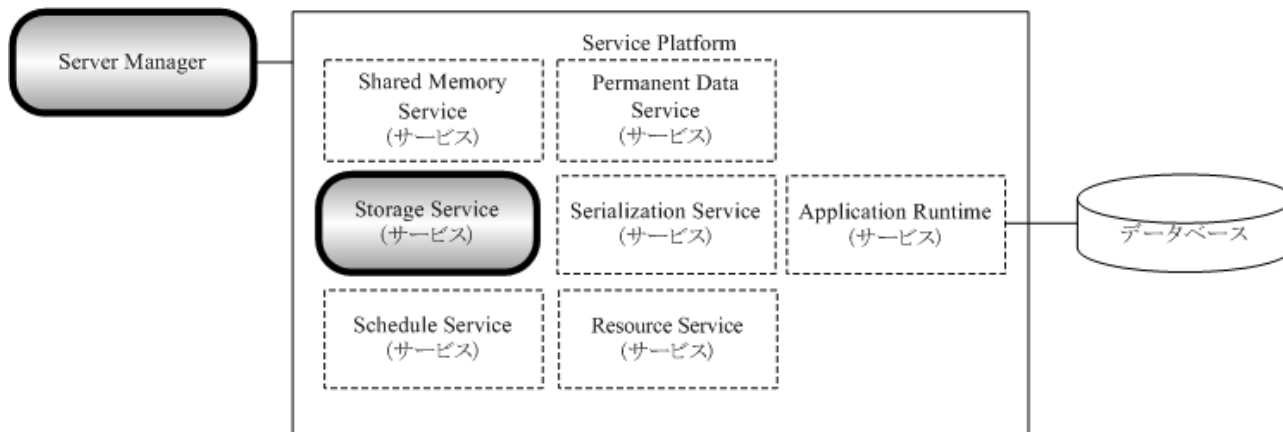
1.3.1 intra-mart WebPlatformの場合



以下のモジュールに対してインストールを行います。

- Server Manager
- Storage Service

1.3.2 intra-mart AppFrameworkの場合



以下のモジュールに対してインストールを行います。

- Server Manager
- Storage Service

2 インストールの流れ

以下の手順でインストールを行ってください。

2.1 IWP／AFW (IM-共通マスタ含む)のインストール

	参照	ページ
3.1	IWP／AFW (IM-共通マスタ含む)のインストール	4

2.2 IM-Workflowのインストール

	参照	ページ
3.2	IM-Workflowのインストール	4

2.3 IWP／AFW 英語コンテンツ(IM-共通マスタを含む)のインストール

	参照	ページ
3.3	IWP／AFW 英語コンテンツ(IM-共通マスタを含む)のインストール	4

2.4 IM-Workflow英語コンテンツのインストール

	参照	ページ
3.4	IM-Workflow英語コンテンツのインストール	5

3 インストール

3.1 IWP／AFW(IM-共通マスタ含む)のインストール

「IWP／AFW」のインストールに関しては、IWP／AFW に付属の「intra-mart WebPlatform セットアップガイド」または、「intra-mart AppFramework セットアップガイド」を参照してください。

「IM-共通マスタ」のインストールに関しては、IWP／AFWに付属の「IM-共通マスタ セットアップガイド」を参照してください。

「IWP／AFW パッチ(IM-共通マスタ含む)」のインストールに関しては、パッチに付属する「readme.txt」および「history.txt」を参照ください。

「IWP／AFW パッチ 2」以降を適応する必要があります。最新パッチの適応を推奨します。

3.2 IM-Workflowのインストール

「IM-Workflow」のインストールに関しては、IM-Workflow に付属の「IM-Workflow セットアップガイド」を参照してください。

「IM-Workflow パッチ」のインストールに関しては、パッチに付属する「readme.txt」および「history.txt」を参照ください。

「IM-Workflow パッチ 2」以降を適応する必要があります。最新パッチの適応を推奨します。

3.3 IWP／AFW 英語コンテンツ(IM-共通マスタを含む)のインストール

「IWP／AFW 英語コンテンツ」のインストールに関しては、IWP／AFW 英語コンテンツに付属の「intra-mart WebPlatform／AppFramework 英語コンテンツ セットアップガイド」を参照してください。

「IWP／AFW 英語コンテンツ パッチ」がリリースされている場合は、最新パッチの適応を推奨します。

「IWP／AFW 英語コンテンツ パッチ」のインストールに関しては、パッチに付属する「readme.txt」および「history.txt」を参照ください。

3.4 IM-Workflow英語コンテンツのインストール

IM-Workflow および **IM-Workflow 英語コンテンツ** のパッチがリリースされている場合は、最新パッチの適応を推奨します。

パッチのインストールに関しては、付属の「readme.txt」および「history.txt」を参照してください。

3.4.1 インストーラの起動と操作

インストーラの起動および操作は以下のように行います。

- Windows の場合
 1. java.exe コマンドにパスが通っていることを確認します。
 2. エクスプローラで本製品の CD-ROM があるディレクトリに移動します。
 3. im_workflow_en\install ディレクトリへ移動します。
 4. **setup.jar** をダブルクリックし起動します。
 5. インストーラの画面が表示されます。
 6. 画面の設定項目を設定して、[Next]ボタンを押します。以下同様
 7. 最後に設定項目一覧が表示されます。その設定でよろしければ[OK]ボタンを押します。
(間違っていた場合は、[Prev]ボタンで戻り、設定し直してください)
 8. インストールが開始されます。

- Solaris、Linux の場合
 1. java コマンドにパスが通っていることを確認します。
 2. コンソール画面で本製品の CD-ROM があるディレクトリに移動します。
 3. im_workflow_en/install ディレクトリへ移動します。
 4. コンソールから java -jar ./setup.jar と入力します。
 5. インストーラの画面が表示されます。
 6. 画面の設定項目を設定して、[Next]ボタンを押します。以下同様
 7. 最後に設定項目一覧が表示されます。その設定でよろしければ[OK]ボタンを押します。
(間違っていた場合は、[Prev]ボタンで戻り、設定し直してください)
 8. インストールが開始されます。

3.4.2 インストールの注意点

インストールの際に必要な、入力項目の注意点を説明します。

- 「Storage Service コンテンツの保存ディレクトリ」とは
Storage Service コンテンツのルートディレクトリを意味します。
標準は、IWP/AFW をインストールしたディレクトリの「storage」です。

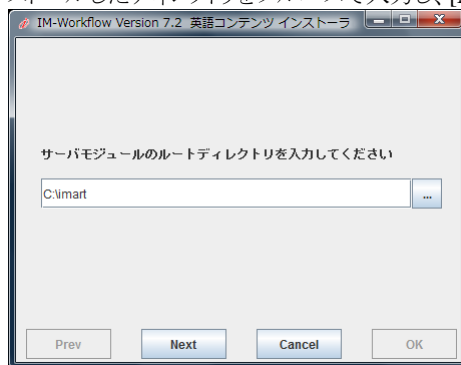
3.4.3 インストールの方法

3.4.3.1 IWP/AFWをスタンドアロン型でインストールしている場合

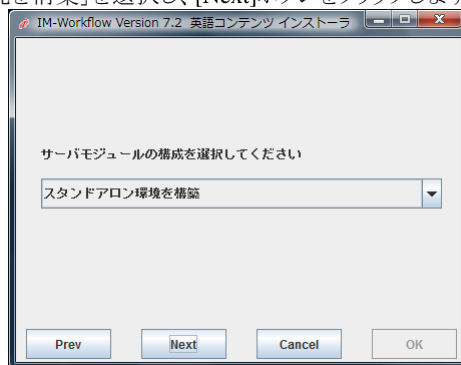
インストール手順は以下の通りです。

項番	手順	入力
1	サーバモジュールのルートディレクトリを入力してください	IWP/AFWをインストールしたディレクトリをフルパスで入力してください
2	サーバモジュールの構成を選択してください (1:スタンドアロン環境を構築 2:分散環境を構築)?	1
3	Storage Service コンテンツの保存ディレクトリ	パスをフルパスで入力してください
4	サンプルをインストール	n
5	この構成でよろしいですか(y/n)?	y

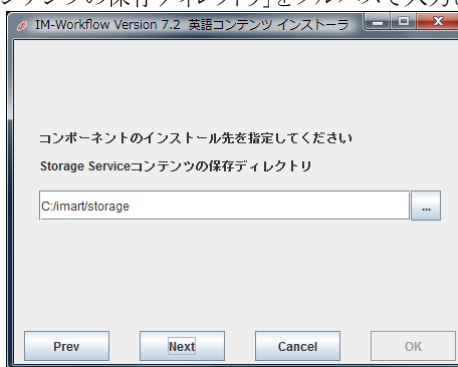
- (1) IWP/AFW をインストールしたディレクトリをフルパスで入力し、[Next]ボタンをクリックします。



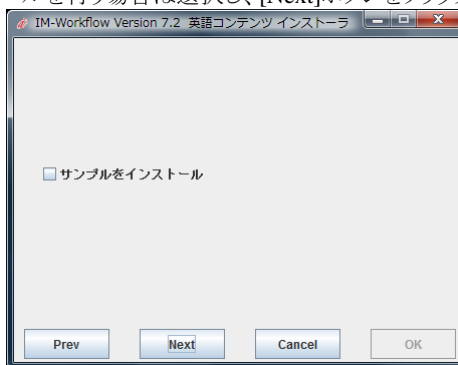
- (2) 「スタンドアロン環境を構築」を選択し、[Next]ボタンをクリックします。



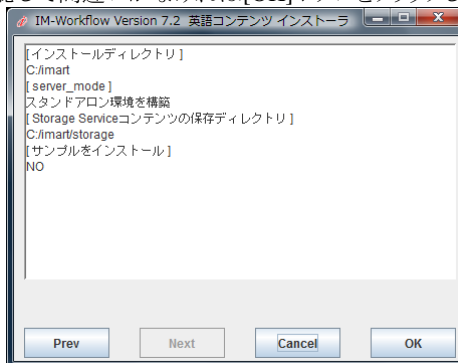
- (3) 「Storage Service コンテンツの保存ディレクトリ」をフルパスで入力し、[Next]ボタンをクリックします。



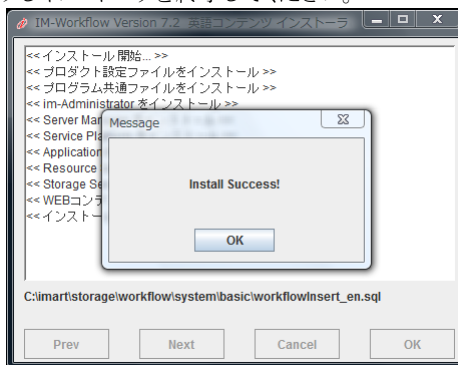
- (4) サンプルのインストールを行う場合は選択し、[Next]ボタンをクリックします。



- (5) 設定した内容を確認して間違いがなければ[OK]ボタンをクリックして下さい。インストールが開始されます。



- (6) インストールが完了するとダイアログが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしインストーラを終了してください。



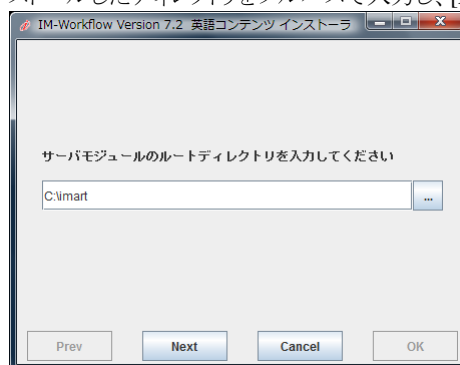
3.4.3.2 IWP/AFWをネットワーク分散型でインストールしている場合

以下のモジュールに対して、ここで説明する手順を繰り返し、インストールしてください。

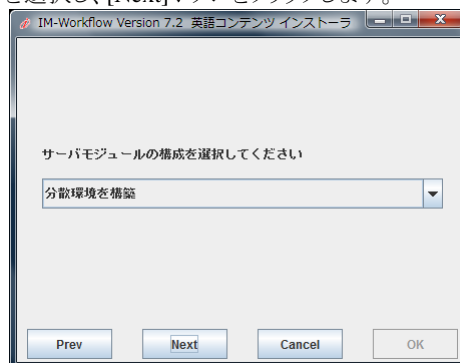
- intra-mart Server Manager
- Storage Service

項番	手順	入力
1	サーバモジュールのルートディレクトリを入力してください	IWP/AFWをインストールしたディレクトリをフルパスで入力してください
2	サーバモジュールの構成を選択してください (1:スタンドアロン環境を構築 2:分散環境を構築)?	2
3	Server Manager コンテンツをインストール(y/n)?	y
4	Storage Service コンテンツをインストール(y/n)?	y
5	Storage Service コンテンツの保存ディレクトリ	パスをフルパスで入力してください
6	サンプルをインストール	n
7	この構成でよろしいですか(y/n)?	y

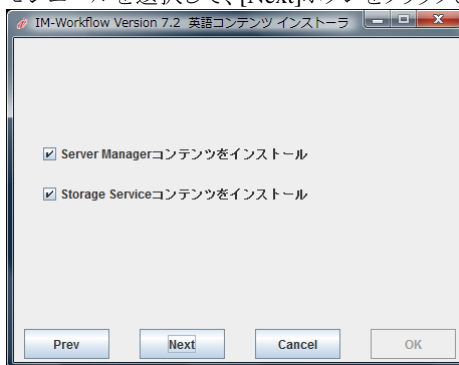
(1) IWP/AFW をインストールしたディレクトリをフルパスで入力し、[Next]ボタンをクリックします。



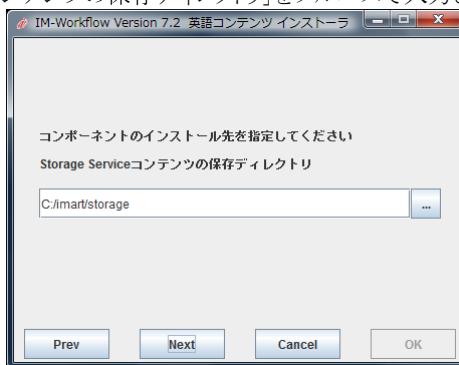
(2) 「分散環境を構築」を選択し、[Next]ボタンをクリックします。



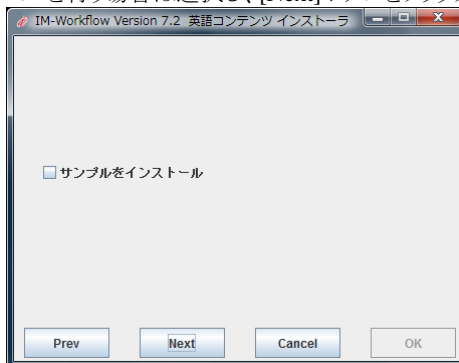
- (3) インストール対象のモジュールを選択して、[Next]ボタンをクリックします。



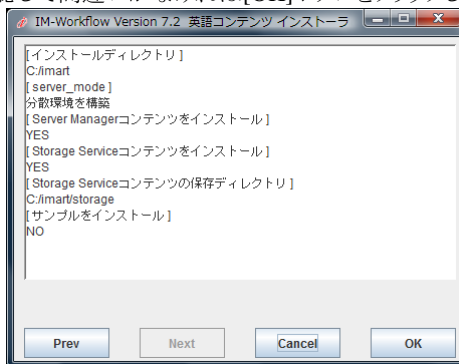
- (4) 「Storage Service コンテンツの保存ディレクトリ」をフルパスで入力し、[Next]ボタンをクリックします。



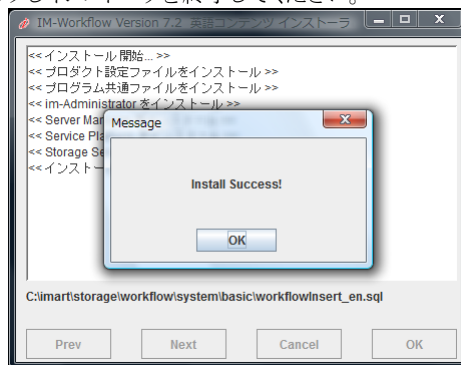
- (5) サンプルのインストールを行う場合は選択し、[Next]ボタンをクリックします。



- (6) 設定した内容を確認して間違いがなければ[OK]ボタンをクリックして下さい。インストールが開始されます。



- (7) インストールが完了するとダイアログが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしインストーラを終了してください。



3.4.4 WebApplication Serverへの登録

intra-mart AppFramework をご利用の場合は、WebApplication Server への登録(デプロイ)が必要になります。
WebApplication Server への登録(デプロイ)方法は、「intra-mart AppFramework セットアップガイド」を参照してください。

4 初期データインポート

4.1 「IM-Workflow」と「IM-Workflow 英語コンテンツ」を同時にインストールした場合

システム管理者でログインし、[ライセンス]画面より、「IM-Workflow IM-WorkflowSet Up Module」の「初期データインポート」を行ってください。

IM-Workflow Set Up Module	
プロダクトタイプID	IW
バージョン	7.2.2
インストール日時	10/29,2010 00:00
初期データインポート	default ▼ <input type="button" value="インポート"/>
サンプルデータインポート	default ▼ <input type="button" value="インポート"/>

4.2 「IM-Workflow」の初期データインポートを行った後に、「IM-Workflow 英語コンテンツ」をインストールした場合

※ 「IM-Workflow」で運用を開始した後に、「IM-Workflow 英語コンテンツ」を追加インストールする場合

4.2.1 英語コンテンツの初期データインポート

システム管理者でログインし、[ライセンス]画面より、「IM-Workflow English Contents」の「初期データインポート」を行ってください。

IM-Workflow English Contents	
プロダクトタイプID	JE
バージョン	7.2.0
インストール日時	10/29,2010 00:00
初期データインポート	default ▼ <input type="button" value="インポート"/>

※メニューの権限については、設定ファイルに記述されている権限に初期化されます。

4.2.2 マスタ情報の補完

運用中に iWP/iAF に対して多言語版製品を追加インストールした環境で、IM-Workflow を利用可能とするには、各種マスタ情報に対して国際化情報を設定する必要があります。対象となるマスタ情報は、大きく3つに分類されます。

- アクセスセキュリティ情報
- IM-共通マスタ情報
- IM-Workflow マスタ情報

設定方法の詳細は次節を参照してください。

4.2.2.1 アクセスセキュリティ情報の補完

アクセスセキュリティ情報に関して、下記の項目を設定する必要があります。

対象情報 国際化情報を設定する対象情報	項目
ロール ※1	表示名(国際)

※1. IM-Workflow のルート定義のノードに対して、処理対象者として設定している情報の場合、国際化情報設定は必須です。すべてのロールに対して国際化情報が登録されている状態での運用を推奨します。

上記項目の設定方法は以下の通りです。

対象情報 国際化情報を設定する対象情報	表示画面 操作対象の画面名	操作手順 表示画面上での操作内容
ロール	ロールマスタメンテナンス	メニュー[ログイングループ管理] - [ロール設定] をクリック 画面左のロール一覧より、編集対象のロールをクリック 「表示名(必須)(国際)」のセレクトボックスより、新規追加言語を選択し、情報入力する 「更新」ボタンをクリックして更新

4.2.2.2 IM-共通マスタ情報の補完

IM-共通マスタ情報に関して、下記の項目を設定する必要があります。下記項目は、IM-共通マスタの国際化対応情報のうち、IM-Workflow を動作させるための最低限必須となるマスタについて記載しています。下記で記載のない任意項目については、適宜、マスタメンテナンスを行ってください。(例: マスタ情報の備考など)

対象情報 国際化情報を設定する対象情報	項目
ユーザ ※1	ユーザプロフィール 国際化情報
組織 ※1	組織 国際化情報
会社 役職 ※2	会社 役職 国際化情報
パブリックグループ ※2	パブリックグループ 国際化情報
パブリックグループ 役割 ※2	役割 国際化情報

※1. IM-Workflow の処理実行時に登録される、処理実行者名や処理実行組織名として利用されます。

これらの情報はインストールされている全言語分必ず登録されている必要があります。

※2. IM-Workflow のルート定義のノードに対して、処理対象者として設定している情報の場合、国際化情報設定は必須です。対象者として設定されるマスタ情報は、ルート定義で設定した対象のみではなく、「動的承認ノード」や「横配置ノード」、「縦配置ノード」で処理者が設定する場合もあるため、すべてのマスタ情報に対して国際化情報が登録されている状態での運用を推奨します。

上記項目の設定方法は以下の通りです。

対象情報 国際化情報を設定する対象情報	表示画面 操作対象の画面名	操作手順 表示画面上での操作内容
ユーザ		メニュー[IM-共通マスタ] - [ユーザ] をクリック
	ユーザ検索	検索クリック 対象ユーザの編集アイコンクリック
	ユーザ詳細 (基本タブ)	プロフィールタブクリック
	ユーザ詳細 (プロフィールタブ)	他ロケール設定クリック
	国際化項目一括設定	新規追加言語欄にチェックをいれ、情報入力し、決定ボタンをクリック 更新ボタンをクリックして 更新
組織		メニュー[IM-共通マスタ] - [会社・組織] をクリック
	組織	会社・組織を右クリック 「組織の編集」クリック
	組織詳細 (基本タブ)	他ロケール設定クリック
	国際化項目一括設定	新規追加言語欄にチェックをいれ、情報入力し、決定ボタンをクリック
	組織詳細 (基本タブ)	更新ボタンをクリックして 更新
会社 役職		メニュー[IM-共通マスタ] - [会社・組織] をクリック
	組織	ツールバーより「役職表示」リンクをクリック
	役職	画面左の会社一覧より、役職表示する会社をクリック 画面右の役職一覧より、編集対象の役職の「編集」アイコンをクリック
	役職詳細 (基本タブ)	他ロケール設定クリック
	国際化項目一括設定	新規追加言語欄にチェックをいれ、情報入力し、決定ボタンをクリック
	役職詳細 (基本タブ)	更新ボタンをクリックして 更新
パブリックグループ		メニュー[IM-共通マスタ] - [パブリックグループ] をクリック
	パブリックグループ	パブリックグループセット・パブリックグループを右クリック 「パブリックグループの編集」クリック
	パブリックグループ詳細 (基本タブ)	他ロケール設定クリック
	国際化項目一括設定	新規追加言語欄にチェックをいれ、情報入力し、決定ボタンをクリック
	パブリックグループ詳細 (基本タブ)	更新ボタンをクリックして 更新
パブリックグループ 役割		メニュー[IM-共通マスタ] - [パブリックグループ] をクリック
	組織	ツールバーより「役割表示」リンクをクリック
	役割	画面左のパブリックグループセット一覧より、役職表示するパブリックグループセットをクリック 画面右の役割一覧より、編集対象の役割の「編集」アイコンをクリック
	役割詳細 (基本タブ)	他ロケール設定クリック
	国際化項目一括設定	新規追加言語欄にチェックをいれ、情報入力し、決定ボタンをクリック
	役割詳細 (基本タブ)	更新ボタンをクリックして 更新

4.2.2.3 IM-Workflowマスタ情報の補完

IM-Workflow マスタ情報に関して、下記の項目を設定する必要があります。下記項目は、IM-Workflow の国際化対応情報のうち、IM-Workflow を動作させるための最低限必須となるマスタについて記載しています。下記で記載のない任意項目については、適宜、マスタメンテナンスを行ってください。(例:マスタ情報の備考など)

対象情報 国際化情報を設定する 対象情報	項目
案件プロパティ定義	キー名
ルール定義	ルール名
メール定義	件名
	本文
一覧表示パターン定義	パターン名
フローグループ定義	フローグループ名
コンテンツ定義	コンテンツ名
	画面名
	プログラム名
ルート定義	ルート名
フロー定義	フロー名

上記項目の設定方法は以下の通りです。

対象情報 国際化情報を設定する 対象情報	表示画面 操作対象の画面名	操作手順 表示画面上での操作内容
案件プロパティ定義		メニュー [IM-Workflow] - [ワークフローシステム管理者] - [マスタ定義] - [案件プロパティ定義] をクリック
	案件プロパティ定義	編集対象の案件プロパティ定義の「編集」アイコンをクリック
	案件プロパティ定義 - 編集	キー名 を入力し、「更新」ボタンをクリックして 更新
ルール定義		メニュー [IM-Workflow] - [ワークフローシステム管理者] - [マスタ定義] - [ルール定義] をクリック
	ルール定義	編集対象のルール定義の「編集」アイコンをクリック
	ルール定義 - 編集	ルール名 を入力し、「更新」ボタンをクリックして 更新
メール定義		メニュー [IM-Workflow] - [ワークフローシステム管理者] - [マスタ定義] - [メール定義] をクリック
	メール定義	編集対象のルール定義の「編集」アイコンをクリック
	メール定義 - 編集	ルール名、件名、本文 を入力し、「更新」ボタンをクリックして 更新
一覧表示パターン定義		メニュー [IM-Workflow] - [ワークフローシステム管理者] - [マスタ定義] - [一覧表示パターン定義] をクリック
	一覧表示パターン定義	編集対象の一覧表示パターン定義の「編集」アイコンをクリック
	一覧表示パターン定義 - 編集	パターン名 を入力し、「更新」ボタンをクリックして 更新
フローグループ定義		メニュー [IM-Workflow] - [ワークフローシステム管理者] - [マスタ定義] - [フローグループ定義] をクリック
	フローグループ定義 - 編集	画面左側のフローグループツリーより、編集対象のフローグループをクリック
		フローグループ名 を入力し、「更新」ボタンをクリックして 更新
コンテンツ定義		メニュー [IM-Workflow] - [ワークフローシステム管理者] - [マスタ定義] - [コンテンツ定義] をクリック
	コンテンツ定義	編集対象のコンテンツ定義の「編集」アイコンをクリック
	コンテンツ定義 - 編集	コンテンツ名 を入力し、「更新」ボタンをクリックして 更新
	コンテンツ定義 - 編集	「バージョン」タブをクリックし、編集対象のバージョンの「編集」アイコンをクリック
	コンテンツ定義 - バージョン - 編集	「基本情報」タブをクリックし、「更新」ボタンをクリックして 更新 (※バージョン国際化内部情報の登録)

	コンテンツ定義 - バージョン - 編集	「画面」タブをクリックし、編集対象の画面定義の「編集」アイコンをクリック
	画面定義編集	画面名 を入力し、「更新」ボタンをクリックして更新 ※画面名の編集を、登録されている画面定義すべてに対して実施します
	コンテンツ定義 - バージョン - 編集	「ユーザプログラム」タブをクリックし、編集対象のユーザプログラム定義の「編集」アイコンをクリック
	ユーザプログラム定義編集	プログラム名 を入力し、「更新」ボタンをクリックして更新 ※プログラム名の編集を、登録されているユーザプログラム定義すべてに対して実施します
ルート定義		メニュー [IM-Workflow] - [ワークフローシステム管理者] - [マスタ定義] - [ルート定義] をクリック
	ルート定義	編集対象のルート定義の「編集」アイコンをクリック
	ルート定義 - 編集	ルート名 を入力し、「更新」ボタンをクリックして更新 「バージョン」タブをクリックし、編集対象のバージョンの「編集」アイコンをクリック
	ルート定義 - バージョン - 編集	「基本情報」タブをクリックし、「更新」ボタンをクリックして更新 (※バージョン国際化内部情報の登録)
フロー定義		メニュー [IM-Workflow] - [ワークフローシステム管理者] - [マスタ定義] - [フロー定義] をクリック
	フロー定義	編集対象のフロー定義の「編集」アイコンをクリック
	フロー定義 - 編集	フロー名 を入力し、「更新」ボタンをクリックして更新 「バージョン」タブをクリックし、編集対象のバージョンの「編集」アイコンをクリック
	フロー定義 - バージョン - 編集	「基本情報」タブをクリックし、「更新」ボタンをクリックして更新 (※バージョン国際化内部情報の登録)
	フロー定義 - バージョン - 編集	「ルート詳細」タブをクリックする
	ノード設定	表示されたノードすべてに対し、「編集」アイコンをクリックし、「登録」ボタンをクリックして登録します。このとき、各タブの中で国際化情報がある場合は、情報を設定して登録してください。(例:「処理設定」タブの処理名) (※バージョン国際化内部情報の登録)

※バージョン国際化情報の更新が必要となる理由：画面上に現れないバージョン情報も国際化されており、言語追加によって不足したマスタ情報を補完するために、画面上からの再更新処理が必要となります。

5 サンプルデータインポート

- ◆ サンプルデータは 必要な場合にのみインポートを行ってください。
- ◆ IM-Workflow のサンプルを使用するには、IWP/AFW およびIM-共通マスタのサンプルがインポートされている必要があります。

5.1 「IM-Workflow」と「IM-Workflow 英語コンテンツ」を同時にインストールした場合

システム管理者でログインし、[ライセンス]画面より、「IM-Workflow IM-WorkflowSet Up Module」の「サンプルデータインポート」を行ってください。

IM-Workflow Set Up Module	
プロダクトタイプID	IW
バージョン	7.2.2
インストール日時	10/29,2010 00:00
初期データインポート	default ▼ <input type="button" value="インポート"/>
サンプルデータインポート	default ▼ <input type="button" value="インポート"/>

5.2 「IM-Workflow」の初期データインポートを行った後に、「IM-Workflow 英語コンテンツ」をインストールした場合

「サンプルデータインポート」を行うことは出来ません。

IM-Workflow Ver. 7.2
英語コンテンツ セットアップガイド

2012/10/31 第2版

Copyright 2000-2012 株式会社NTTデータ イントラマート
All rights Reserved.

TEL: 03-5549-2821

FAX: 03-5549-2816

E-MAIL: info@intra-mart.jp

URL: <http://www.intra-mart.jp/>